

一般財団法人京都ボーイスカウト振興会
平成24年度（平成24年7月2日から平成25年3月31日）
事業計画

1. はじめに

平成24年7月2日から平成25年3月31日までの会計期間は、一般財団法人の新体制のもとにスタートする最初の会計期間であり、(1)ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業、(2)青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業、(3)国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動のための共催事業、(4)ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業のそれぞれの事業内容を明確にするとともに、それらの事業ごとの計画を策定し、実行することによって、京都府下のボーイスカウト運動を振興し、もって、青少年の品性の向上および国際友愛の精神の育成を図っていききたい。

2. 事業計画の内容

(1) ボーイスカウト行事等に対する助成協力事業

(ア) 助成の対象

京都府下において、ボーイスカウト運動の趣旨を理解し、組織的にボーイスカウト運動を行う団体

(ア) 助成の趣旨・用途

ボーイスカウト運動にかかる講習・実修・研修・キャンプに要する経費、世界ジャンボリー・日本ジャンボリー及びベンチャースカウト大会へのスカウト派遣に要する経費、その他ボーイスカウト運動に欠くことができない重要な行事のために必要となる経費

(イ) 事業予算

事業費として、2,300千円を見込む。この内、1,000千円は、京都キャンポリー開催に伴う事業費に対する助成である。残額の1,300千円は、日本ボーイスカウト京都連盟（以下、「京都連盟」という。）の24年度事業費予算のうち、進歩費（予算額295千円）、国際費（同405千円）、安全費（同120千円）、環境費（同228千円）、コミッショナー費（同619千円）、イベント費（同1,020千円）等に必要となる事業費に対して助成する予定である。

(ウ) 助成対象者からの助成申請及び実績報告

助成対象者からは書面による助成申請（事業の収支予算及び事業の実施概要）を受け、書面による実績結果（事業の収支決算及び事業の実施状況）を受ける。なお、助成申請及び実績報告は、助成対象者の組織的な機関決定を経たものであることを条件とする。

(2) 青少年の育成を目的とした自然体験活動のためのキャンプ企画事業

(ア) 体験活動の所在地

広河原野営場：京都市左京区広河原尾花町 27 番地

(当法人所有：山林 22, 559 平方メートル、原野 521 平方メートル)

(イ) 体験活動の運営主体

京都連盟

(ウ) 体験活動に参加が予定されている対象者

青少年の育成を目的とした組織団体に無償提供する。

(エ) 事業予算

事業費として、平成 24 年 7 月 1 日までに、馬酔木の植樹費用として、270 千円を支出しているため、平成 24 年 7 月 2 日以降については、予備費として 30 千円を見込む。

(オ) 広河原野営場近隣における舎営施設土地建物の取得について

現在、広河原野営場の近隣に舎営施設土地建物を 10 百万円以内で取得すべく、所有者との協議を継続中である。

(3) 指導者養成のためのプログラム企画運営事業

(ア) 趣旨

青少年の育成を指導する人としての素養を涵養するために、企業人、教育者等の有識者を講師に迎え、青少年の育成を指導する立場にある一般の参加者に対して、講演会を実施するものです。

(イ) 講演者候補

富野輝一郎氏

龍谷大学 教授（政策学部）

経歴：一般財団法人地域公共人材開発機構 設立者（理事）

米軍住宅建設反対の市民運動から 40 歳の若さで神奈川県逗子市の市長となられた

学歴学位：京都大学理学部宇宙物理学科卒、東京大学大学院理学系研究科博士課程中退、理学修士

講演内容：(仮題)「グローバル化時代に求められる人材像」

(ウ) 参加者の募集方法

京都連盟及び当法人からのスカウトメンバーの保護者等への案内、ホームページを通じた募集

(エ) 開催場所

キャンパスプラザ京都（京都駅前）を予定

- (オ) 開催日
候補日を検討中
- (カ) 講演会予算
事業費として、300 千円（講演料 100 千円、会場使用料等 200 千円）を見込む。

(4) 国際交流・国際貢献活動、社会に役立つ事業活動、環境・まち美化活動支援のための共催事業

- (ア) 国際交流・国際貢献活動支援
ボーイスカウトを対象に海外キャンプへの派遣、海外スカウトのホームステイ受入、国際協力プロジェクトの派遣実施等
- (イ) 社会に役立つ事業活動支援
一般青少年を対象にした青少年元気サポート事業（アウトドアチャレンジ）
全国都道府県対抗女子駅伝競走大会、全国車いす駅伝競走大会、視覚障害者マラソン京都大会の沿道整理奉仕
- (ウ) 環境まち美化活動支援
「みどりの募金」活動、京都市「まち美化運動」に参加

(5) ボーイスカウト運動の振興及び普及宣伝事業

- (ア) 地域の不特定多数の青少年に対するボーイスカウト運動の普及宣伝を図る事業として、ホームページを通じて、スカウトの日（ゴミ拾い等の奉仕活動を実施する日）等に地域の青少年の参加を促す。
- (イ) ボーイスカウト・指導者等のボーイスカウト関係者、維持会員、並びに不特定多数の皆様に対して、ホームページを通じて、当法人の事業計画等・京都連盟の事業計画等を適時に適切な範囲でディスクローズし、健全な運営を行う。
- (ウ) ボーイスカウト運動の振興を図るために維持会員及び潜在的な維持会員に対して、ホームページを通じて、会費の協力を依頼する。
- (エ) 事業予算
事業費として、440 千円（普及宣伝費 50 千円、ホームページ運営改革費 305 千円、通信運搬費 35 千円、印刷製本費 50 千円）を見込む。なお、平成 24 年 7 月 1 日までに 109 千円の事業費を支出している。

3. 財源の確保

理事及び評議員の方には、21世紀を担う青少年の健全な育成の場としてのボーイスカウト運動を、地域社会の方々の認識を高めるのにご尽力をいただき、広く財政的援助を頂戴していけるように努力して頂き、維持会員数の拡大に一層のご協力をお願いする次第であります。

以上